

簿記論

トレーニング

< 今回の学習内容 >

第3回講義 使用ページ
問題15～26

問題編

問題15 銀行勘定調整(1)**基礎**

<解答P29>

- 8分 -

下記の【資料】に基づいて、次の問に答えなさい。

問1 決算整理仕訳を示しなさい。なお、仕訳不要の場合は「仕訳なし」と記入しなさい。

問2 決算整理後残高試算表を作成しなさい。

【資料1】決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表				(単位：円)
当座預金	334,000	買掛金	552,000	
売掛金	766,000			
営業費	1,011,000			

【資料2】決算整理事項

決算日に取り寄せた銀行残高証明書残高は470,000円であり、当座預金の帳簿残高との不一致の原因を調査したところ次の事実が判明した。

- (1) 決算日に現金120,000円を預け入れたが、営業時間外であったため、銀行では翌日付で入金処理されていた。
- (2) 仕入先A社に対して買掛金90,000円の支払いのために振り出した小切手が、銀行に支払呈示されていなかった。
- (3) 仕入先B社に対する買掛金30,000円及び営業費10,000円の支払いのために振り出した小切手が、未渡しであった。
- (4) 得意先C社より売掛金150,000円が当座預金に振り込まれていたが、その連絡が当社に未達であった。
- (5) 営業費15,000円が当座預金から引き落とされていたが、その連絡が当社に未達であった。
- (6) 当社では、得意先D社からの売掛金60,000円の振込額を誤って69,000円と処理していた。

【解答欄】

問 1

(単位：円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				

問 2

決算整理後残高試算表

(単位：円)

当 座 預 金	()	買 掛 金	()
売 掛 金	()	()	()
営 業 費	()		

問題16 銀行勘定調整(2)

<解答P30>

基礎

5分

次の資料に基づいて、下記の問に答えなさい。

問1 要約貸借対照表の 内に適当な金額を記入しなさい。

問2 決算整理前の当座預金勘定の残高を求めなさい。

【資料1】

決算整理前残高試算表			
x14年3月31日		(単位：千円)	
現 金	420	買 掛 金	4,020
当 座 預 金	(各自計算)		
売 掛 金	4,230		

【資料2】

銀行から取り寄せたx14年3月31日現在の当座預金の残高証明書の金額は4,240千円となっており、当社の当座預金勘定残高と一致しなかった。その原因を調べたところ、次のことが判明した。

- 当期中の売掛金回収分のうち120千円が当社では210千円と記帳され、しかも貸借反対に仕訳されていた。
- 営業費200千円の支払いのために振り出した小切手について、当社はすでに記帳済みであったが、銀行からはまだ支払われていなかった。
- 買掛金支払いのために振り出した小切手150千円が銀行から支払われていたが、当社で振り出した際に貸借反対に仕訳されていた。

【解答欄】

問1

要約貸借対照表			
		(単位：千円)	
現 金 預 金		買 掛 金	
売 掛 金			

問2 千円

問題17 銀行勘定調整(3)

<解答P32>

応用

— 5分 —

下記の【資料】に基づいて、決算整理後残高試算表を作成しなさい。

【資料1】

決算整理前残高試算表				(単位：円)
現金預金	140,800	買掛金		162,000
受取手形	285,000			
営業費	50,000			

【資料2】決算整理事項

- 現金預金勘定の内訳は現金と当座預金であり、決算日における銀行証明書残高は150,000円であった。また、当社の当座預金出納帳における帳簿残高との差額について、次の(1)～(4)の事実が判明した。
 - 決算日に現金10,000円を預け入れたが、銀行では営業時間終了後であったため、翌日の入金として処理していた。
 - 手形代金30,000円が、既に当社の当座預金口座に振り込まれていたが、当社にその連絡が未達であった。
 - 営業費3,600円及び買掛金31,400円の支払のため小切手を振り出して記帳したが、未渡しであった。
 - 得意先から受け取った得意先振出小切手20,000円について、当社では取立依頼をして入金処理を行ったが、銀行では取立が完了していなかった。
- 現金の実際有高は25,000円であった。なお、現金出納帳における帳簿残高と実際有高との差額については原因不明である。
- 営業費には見越額450円及び繰延額600円がある。

【解答欄】

決算整理後残高試算表				(単位：円)
現金預金	()	買掛金	()	
受取手形	()	()	()	
()営業費	()	()営業費	()	
営業費	()			
()	()			

問題18 銀行勘定調整(4)

<解答P33>

応用

5分

当社の下記の【資料】に基づいて、修正後及び決算整理後残高試算表を作成しなさい。

【資料1】修正前及び決算整理前の残高試算表（x3年3月31日）（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金 預 金	82,638	短 期 借 入 金	165,000
売 掛 金	252,543		
販売費及び一般管理費	734,803		
支 払 利 息	1,526		

【資料2】修正事項及び決算整理事項等

期末預金残高を調べたところ、当社の当座預金の帳簿残高は1,412千円の貸方残高であるが、取引銀行における当社の残高証明書の内容は383千円のマイナスであった。この差異原因等を調査した結果、次のことが判明した。なお、取引銀行とは当座借越契約を結んでおり、貸方残高は負債勘定に振り替えるものとする。

- x3年3月31日に得意先から売掛代金965千円（振込手数料1千円差引き後）の振込みがあったが、当社では未記帳であった。
- x3年3月31日に集金した小切手420千円（売掛代金）は当社では当座預金に記帳済みであったが、銀行への預け入れは翌日であった。
- 仕入先に買掛金支払のために振出した記帳済みの小切手のうち未取付け分が504千円あった。
- 残りの差額は借入金利息であり、**各自推定** 千円が当社で未記帳であった。

【解答欄】

修正後及び決算整理後残高試算表（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金 預 金		短 期 借 入 金	
売 掛 金			
販売費及び一般管理費			
支 払 利 息			

確認 3

<解答P35>

確認

- 10分 -

- 1 下記の資料に基づいて、決算整理後残高試算表（一部）を作成しなさい。

【資料1】決算整理前残高試算表（一部）

決算整理前残高試算表（一部）					(単位：千円)			
現	金	預	金	16,800	買	掛	金	22,680
売		掛	金	33,650				
営		業	費	88,925				

【資料2】決算整理事項

取引銀行から受け取った、決算日における当座預金の残高証明書の金額は15,500千円であり、当社の帳簿残高との不一致原因を調べたところ、次の(1)から(5)の事項が判明した。

- (1) 決算日に銀行に現金250千円を預け入れたが、銀行では翌日の預け入れとして処理されていた。
- (2) 売掛金3,800千円の当座振込があったが、当社では未記帳であった。
- (3) 買掛金2,200千円の支払いとして振り出した小切手が未渡りであった。
- (4) 買掛金1,500千円の支払いとして振り出した小切手が、決算日現在未取付であった。
- (5) 営業費300千円が当座預金から引き落とされていたが、当社では未記帳であった。

【解答欄】

決算整理後残高試算表（一部）					(単位：千円)			
現	金	預	金		買	掛	金	
売		掛	金					
営		業	費					

2 下記の資料に基づいて、次の問1及び問2に答えなさい。

問1 【資料1】の当座預金の金額を求めなさい。

問2 決算整理後残高試算表（一部）を作成しなさい。

【資料1】 決算整理前残高試算表（一部）

決算整理前残高試算表（一部）					(単位：千円)			
当	座	預	金		買	掛	金	48,000
売		掛	金	67,000				
営		業	費	122,000				

【資料2】 決算整理事項

決算日に取り寄せた銀行残高証明書の金額が34,000千円であったため、当座預金の帳簿残高との差異を調査したところ、次の事項が判明した。

- (1) 営業費3,500千円が当座預金から引き落とされていたが、当社では未記帳であった。
- (2) 売掛金の当座回収額1,500千円を、当社では誤って貸借反対に記帳していた。
- (3) 決算日に現金1,000千円を銀行に預け入れたが、閉店後であったため、銀行では翌日の入金として処理されていた。
- (4) 買掛金2,000千円と営業費300千円の支払いのために振り出した小切手が、決算日現在未渡しであった。
- (5) 買掛金4,000千円の支払いのために振り出した小切手が、決算日現在未決済であった。

【解答欄】

問1

千円

問2

決算整理後残高試算表（一部）

（単位：千円）

当	座	預	金		買	掛	金	
売		掛	金					
営		業	費					

問題19 約束手形(1)・為替手形

<解答P37>

基礎

- 6分 -

次の取引を仕訳しなさい。

- (1) A社に対する買掛金50,000円を約束手形を振り出して支払った。
- (2) B社より商品80,000円を仕入れ、代金として得意先C社宛（引受済）の為替手形を振り出して支払った。
- (3) D社より売掛金100,000円の回収として、同社振出の約束手形60,000円と為替手形40,000円を受け取った。
- (4) 仕入先E社振出、当社宛の為替手形70,000円の呈示を受け、引き受けをした。
- (5) F社宛に振り出した約束手形40,000円が支払期日に決済された旨の通知を受けた。

【解答欄】

(単位：円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

問題20 裏書譲渡・割引(1)

<解答P38>

基礎

7分

次の取引について各社の仕訳を示しなさい。なお、仕訳不要の場合は「仕訳なし」と記入すること。
また、営業外手形については、考慮不要である。

- (1) A社は、B社より商品を仕入れた際に、所有していた20,000円の約束手形を裏書譲渡して支払った。
- (2) C社はE社に対する売掛金15,000円の決済として、D社を名宛人、E社を指図人としてF社が振り出した為替手形を受け入れた。
- (3) G社は、得意先H社から売掛金の回収として、かねてG社が振り出した約束手形30,000円を受け取った。
- (4) I社は、J社振出の約束手形90,000円を取引銀行で割り引き、割引料450円を差し引かれた残額を当座預金とした。

【解答欄】

(単位：円)

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	A社				
	B社				
(2)	C社				
	E社				
(3)	G社				
	H社				
(4)	I社				

<メ モ>

問題21 約束手形(2)・割引(2)

<解答P39>

応用

— 12分 —

下記の【資料】に基づいて、次の問に答えなさい（事業年度は4月1日～3月31日）。

問1 2月28日現在の残高試算表の受取手形及び支払手形の金額を求めなさい。

問2 決算整理前残高試算表を作成しなさい。

【資料1】

2月28日現在の残高試算表				(単位：円)	
受 取 手 形	()	支 払 手 形	()		
売 掛 金	108,255,000	買 掛 金	90,504,500		
仕 入	688,974,200	売 上	810,330,000		
手 形 売 却 損	796,000				

【資料2】

- 商品取引は掛で行われている。
- 3月中の仕入高は56,724,000円、売上高は72,727,000円であった。
- 3月中の買掛金の現金預金による決済は15,000,000円、売掛金の現金預金による決済は20,000,000円であった。
- 手形取引は以下のとおりである。なお、手形については、期日にすべて決済されたものとみなして処理を行う。

① 受取手形管理表

(単位：円)

管理番号	金 額	受 取 日	手形期日	取立依頼日	割 引 日	割 引 料
3135	30,700,000	12月18日	3月18日	2月28日	——	——
3136	21,500,000	12月24日	3月11日	——	2月16日	68,700
3137	25,543,000	1月9日	3月31日	3月21日	——	——
3138	28,500,000	1月17日	3月31日	——	3月23日	31,600
3139	37,507,000	2月19日	4月18日	3月31日	——	——
3140	20,860,000	3月3日	5月28日	3月31日	——	——
3141	22,500,000	3月23日	6月22日	——	——	——

② 支払手形管理表

(単位：円)

管理番号	金 額	振 出 日	手形期日
1911	24,800,000	12月20日	3月20日
1912	19,600,000	12月31日	3月31日
1913	23,200,000	1月22日	4月23日
1914	20,900,000	2月25日	5月27日
1915	17,800,000	3月25日	6月20日
1916	18,500,000	3月31日	6月30日

【解答欄】

問 1

受取手形 () 円 支払手形 () 円

問 2

決算整理前残高試算表

(単位：円)

受 取 手 形 ()	支 払 手 形 ()
売 掛 金 ()	買 掛 金 ()
仕 入 ()	売 上 ()
手 形 売 却 損 ()	

問題22 手形の更改

<解答P41>

研究

— 5分 —

下記の取引について仕訳を示しなさい。なお、収支については現金預金勘定を用いること。

- 1 以前振り出した約束手形600,000円について、支払期日の延期の申し出をし了承を得た。なお、支払延期分の利息6,000円は小切手を振り出して支払った。
- 2 保有している約束手形400,000円について、振出人から支払期日の延期の申し出を受け了承した。支払延期分の利息4,000円については現金により受取った。
- 3 以前振り出した約束手形600,000円について、支払期日の延期の申し出をし了承を得た。なお、支払延期分の利息6,000円は新手形の額面金額に含めることとした。
- 4 保有している約束手形400,000円について、振出人から支払期日の延期の申し出を受け了承した。支払延期分の利息4,000円は新手形の額面金額に含めることとした。

【解答欄】

(単位：円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				

問題23 営業外手形

<解答P41>

研究

— ㊦ 4分 —

次の取引について、空欄に適切な勘定科目又は金額を記入しなさい。記入の必要がない場合には、空欄のままにしておくこと。

【資 料】

A社は、自動車販売会社のB社から、商品配送用に車両運搬具を5,000千円で購入した。購入代金のうち500千円は小切手を振り出し、3,500千円は約束手形を振り出し、残額は翌月支払うこととした。

【解答欄】

(単位：千円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
A 社	車 両 運 搬 具	5,000		
B 社				

問題24 金融手形

<解答P42>

研究

— ㊦ 2分 —

次の取引の仕訳を示しなさい。

- 1 約束手形500,000円を振り出して同額の借入れをした。利息4,500円を差し引かれ、手取金は当座預金とした。
- 2 箱根商店に対し600,000円の貸付を行い、同店振出の同額の約束手形を受け取り、利息3,000円を差し引いた残額を現金で支払った。

【解答欄】

(単位：円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

問題25 貸倒引当金(1)

<解答P42>

基礎

- ㊦ 5分 -

下記の資料に基づいて、当社の決算整理後残高試算表（一部）を作成しなさい。

【資料1】 決算整理前残高試算表（一部）

決算整理前残高試算表（一部）				（単位：千円）	
受 取 手 形	46,000	貸 倒 引 当 金	830		
売 掛 金	78,000				

【資料2】 決算整理事項

当社は、金銭債権を「一般債権」、「貸倒懸念債権」及び「破産更生債権等」に区分し、その区分ごとに貸倒見積高の算定を行い、貸倒引当金を設定している。なお、前期末の時点では貸倒懸念債権及び破産更生債権等に区分された債権はなく、繰入は差額補充法により処理する。

- (1) 得意先甲社は民事再生手続きが開始決定されたが、当社ではこれに関して何ら処理がされていない。甲社に対する債権は、受取手形1,500千円及び売掛金6,500千円である。これらの債権については破産更生債権等として振替処理を行い、債権額から担保処分見込額2,000千円を控除した残額を貸倒見積高とする。
- (2) 得意先乙社は経営破綻の状態には至っていないが、債務の弁済に重大な問題が生じていると考えられる。乙社に対する債権は受取手形3,000千円及び売掛金4,500千円であるが、これを貸倒懸念債権として区分し、債権額から担保処分見込額2,500千円を控除した残額の50%相当を貸倒見積高とする。
- (3) 一般債権の貸倒見積高は、一般債権である金銭債権（受取手形及び売掛金）の期末残高に対し貸倒実績率0.8%を乗じて算定する。

【解答欄】

決算整理後残高試算表（一部）				（単位：千円）	
受 取 手 形	()	貸 倒 引 当 金	()		
売 掛 金	()				
破産更生債権等	()				
貸倒引当金繰入	()				

問題26 貸倒引当金(2)

<解答P43>

応用

- 8分 -

当社の当期における以下の【資料】に基づいて、次の問に答えなさい。

問1 (1)破産更生債権等、(2)貸倒懸念債権及び(3)一般債権に対する貸倒見積高を算定しなさい。

問2 決算整理後残高試算表を示しなさい。

【資料1】決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表				(単位：円)
売	掛	金	100,000	貸倒引当金 1,700
貸	付	金	65,000	

【資料2】期末債権について

- 1 A社に対する債権(貸付金5,000円)はすべて破産更生債権等勘定に振り替える。なお、当該債権についてはその回収可能性を考慮し、債務保証額1,000円を控除した額を貸倒見積高とする。
- 2 B社に対する債権(売掛金8,000円及び貸付金2,000円)は貸倒懸念債権に該当するため、債権残高の50%を貸倒見積高とする。
- 3 上記以外は全て一般債権に該当する。一般債権の貸倒見積高は、債権残高に対し貸倒実績率を乗じて求める。なお、一般債権の平均回収期間は1年未満であり、貸倒実績率は次の(1)～(3)の平均値とする。また、決算整理前残高試算表における貸倒引当金は、すべて一般債権に係るものである。

(1) 前々々期末の債権残高に対する前々期の貸倒損失額の割合

(2) 前々期末の債権残高に対する前期の貸倒損失額の割合

(3) 前期末の債権残高に対する当期の貸倒損失額の割合

	前々々期	前々期	前期	当期
期末債権残高	140,000円	150,000円	160,000円	各自推定
貸倒損失額	1,980円	4,900円	4,050円	4,480円

【解答欄】

問1	(1) 破産更生債権等	(2) 貸倒懸念債権	(3) 一般債権
	円	円	円

問2 決算整理後残高試算表 (一部) (単位：円)

売	掛	金	100,000	貸倒引当金 ()
貸	付	金	()	
破産更生債権等	()			
貸倒引当金繰入	()			

確認 4

<解答P44>

確認

— 10分 —

1 次の1～10の仕訳を示しなさい。なお、商品売買については三分法により処理すること。

- 1 A社に商品を12,000千円で売上げ、代金はA社振出の約束手形で受け取った。
- 2 B社に商品を10,000千円で売上げ、代金はC社振出約束手形の裏書譲渡を受けた。
- 3 Z社から商品8,000千円を仕入れ、代金は約束手形を振り出して支払った。
- 4 Z社から商品15,000千円を仕入れ、代金のうち12,000千円はA社から受け取った約束手形を裏書譲渡し、残額は掛けとした。
- 5 手持ちの約束手形10,000千円を銀行で割引き、割引料350千円を差し引かれた残額を当座預金とした。
- 6 D社に商品を20,000千円で売上げ、代金のうち8,000千円は当社振出の約束手形で受け取り、残額は掛けとした。
- 7 Z社から商品12,000千円を仕入れ、代金は得意先D社宛の為替手形を振り出し、D社の引き受けを得てZ社に交付した。
- 8 E社に商品を18,000千円で売上げ、代金はE社振出F社宛の為替手形を受け取った。
- 9 仕入先Z社から当社宛為替手形3,000千円の呈示を受け、引き受けをした。
- 10 土地50,000千円を購入し、代金は約束手形を振り出して支払った。

2 下記の資料に基づいて、決算整理後残高試算表（一部）を作成しなさい。

【資料1】 決算整理前残高試算表（一部） （単位：千円）

受 取 手 形	33,000	貸 倒 引 当 金	650
売 掛 金	69,000		

【資料2】決算整理事項

当社は、金銭債権を「一般債権」、「貸倒懸念債権」及び「破産更生債権等」に区分し、その区分ごとに貸倒見積高の算定を行い、貸倒引当金を設定している。なお、前期末の時点では貸倒懸念債権及び破産更生債権等に区分された債権はなく、繰入は差額補充法により処理している。

- (1) 得意先A社は民事再生手続きの開始が決定されたが、当社ではこれに関して何ら処理がされていない。A社に対する債権は、受取手形1,000千円及び売掛金5,000千円であるが、これらの債権は回収に長期を要すると考えられるため破産更生債権等として振替処理を行い、債権額から担保処分見込額2,000千円を控除した残額を貸倒見積高とする。
- (2) 得意先B社は経営破綻の状態には至っていないが、債務の弁済に重大な問題が生じている。B社に対する債権は受取手形2,000千円及び売掛金2,000千円であるが、これを貸倒懸念債権として区分し、債権額から担保処分見込額1,500千円を控除した残額の50%相当を貸倒見積高とする。
- (3) 一般債権の貸倒見積高は、一般債権である金銭債権（受取手形及び売掛金）の期末残高に対し貸倒実績率1%を乗じて算定する。

【解答欄】

1

(単位：千円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

2

決算整理後残高試算表（一部）

(単位：千円)

受 取 手 形		貸 倒 引 当 金	
売 掛 金			
破産更生債権等			
貸倒引当金繰入			

解 答 編

問題15 銀行勘定調整(1)

【解 答】

問 1

(単位: 円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	仕 訳 な し			
(2)	仕 訳 な し			
(3)	当 座 預 金	40,000	買 掛 金	30,000
			未 払 金	10,000
(4)	当 座 預 金	150,000	売 掛 金	150,000
(5)	営 業 費	15,000	当 座 預 金	15,000
(6)	売 掛 金	9,000	当 座 預 金	9,000

問 2

決算整理後残高試算表

(単位: 円)

当 座 預 金 (500,000)	買 掛 金 (582,000)
売 掛 金 (625,000)	(未 払 金) (10,000)
営 業 費 (1,026,000)	

【解答への道】(単位: 円)

1 売掛金回収誤記帳

(1) 適正な仕訳

当 座 預 金	60,000	／	売 掛 金	60,000
---------	--------	---	-------	--------

(2) 当社が行った仕訳

当 座 預 金	69,000	／	売 掛 金	69,000
---------	--------	---	-------	--------

(3) 修正仕訳 ((1) - (2))

売 掛 金	9,000	／	当 座 預 金	9,000
-------	-------	---	---------	-------

2 銀行勘定調整表（参考）

銀行勘定調整表																	
決算整理前勘定残高			334,000			証 明 書 残 高			470,000								
(3) 未 渡 小 切 手			+			40,000			(1) 時 間 外 預 入			+			120,000		
(4) 振 込 未 記 帳			+			150,000			(2) 未 取 付 小 切 手			△			90,000		
(5) 引 落 未 記 帳			△			15,000											
(6) 誤 記 帳			△			9,000											
修 正 後 残 高						500,000			修 正 後 残 高						500,000		

問題16 銀行勘定調整(2)

【解 答】

問 1

要約貸借対照表				(単位：千円)
現 金 預 金	4,460	買 掛 金	3,720	
売 掛 金	3,900			

問 2 4,010 千円

【解答への道】（単位：千円）

(1) 売掛金回収誤記帳

① 適正な仕訳

当 座 預 金	120	／	売 掛 金	120
---------	-----	---	-------	-----

② 当社が行った仕訳

売 掛 金	210	／	当 座 預 金	210
-------	-----	---	---------	-----

③ 修正仕訳 (①－②)

当 座 預 金	330	／	売 掛 金	330
---------	-----	---	-------	-----

(2) 未取付小切手 → 修正不要

(3) 買掛金支払誤記帳

① 適正な仕訳

買	掛	金	150	/	当	座	預	金	150
---	---	---	-----	---	---	---	---	---	-----

② 当社が行った仕訳

当	座	預	金	150	/	買	掛	金	150
---	---	---	---	-----	---	---	---	---	-----

③ 修正仕訳 (①－②)

買	掛	金	300	/	当	座	預	金	300
---	---	---	-----	---	---	---	---	---	-----

(4) 銀行勘定調整表

銀行勘定調整表

銀行勘定調整表							
問 2 ⇨	当社残高 (前 T/B)	(	4,010)	銀 行 残 高		4,240	
	(1) 誤 記 帳	+	330	(2) 未取付小切手	△	200	
	(3) 誤 記 帳	△	300				
			4,040			4,040	

(5) B/S 現金預金

現金 420 + 当座預金 4,040 = 4,460 (問 1)

問題17 銀行勘定調整(3)

【解 答】

決算整理後残高試算表

(単位：円)

現 金 預 金	(205,000)	買 掛 金	(193,400)
受 取 手 形	(255,000)	(未 払 金)	(3,600)
(前 払) 営 業 費	(600)	(未 払) 営 業 費	(450)
営 業 費	(49,850)		
(雑 損 失)	(800)		

【解答への道】(単位：円)

1 銀行勘定調整

(1) 時間外預入 ⇨ 銀行側加算

(2) 未記帳

現 金 預 金	30,000	／	受 取 手 形	30,000
---------	--------	---	---------	--------

(3) 未渡小切手

現 金 預 金	35,000	／	未 払 金	3,600
			買 掛 金	31,400

(4) 未取立小切手 ⇨ 銀行側加算

銀行勘定調整表

当座預金の帳簿残高	115,000	証 明 書 残 高	150,000
(2) 未 記 帳	+ 30,000	(1) 時 間 外 預 入	+ 10,000
(3) 未 渡 小 切 手	+ 35,000	(4) 未 取 立 小 切 手	+ 20,000
修 正 後 残 高	180,000	修 正 後 残 高	180,000

2 現金過不足

雑 損 失	800	／	現 金 預 金※	800
-------	-----	---	----------	-----

※ 現金帳簿残高：前 T/B 現金預金 140,800－当預帳簿残高 115,000＝25,800

現金実際有高：25,000

△800

3 営業費の見越及び繰延

営 業 費	450	／	未 払 営 業 費	450
前 払 営 業 費	600	／	営 業 費	600

問題18 銀行勘定調整(4)

【解 答】

修正後及び決算整理後残高試算表

(単位：千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金 預 金	84,470	短 期 借 入 金	165,887
売 掛 金	251,577		
販売費及び一般管理費	734,804		
支 払 利 息	1,546		

【解答への道】(単位：千円)

(1) 振込未記帳 → 当社側加算

現 金 預 金	965	／	売 掛 金	966
販売費及び一般管理費	1			

(2) 誤記帳 → 当社側減算

① 適正な仕訳

現 金 預 金※	420	／	売 掛 金	420
(現 金)				

※ 3月31日現在、銀行へ預け入れていないため、現金として取り扱う。

② 当社が行った仕訳

現 金 預 金	420	／	売 掛 金	420
(当 座 預 金)				

③ 修正仕訳 (①－②)

現 金 預 金	420	／	現 金 預 金	420
(現 金)			(当 座 預 金)	

(3) 未取付小切手 → 銀行側減算

(4) 借入金利息(引落未記帳) → 当社側減算

支 払 利 息※	20	／	現 金 預 金	20
----------	----	---	---------	----

※ 下記(5)銀行勘定調整表の差額より

(5) 銀行勘定調整表

銀行勘定調整表			
当座預金の帳簿残高	△ 1,412	残高証明書の金額	△ 383
(1) 振込未記帳	+ 965	(3) 未取付小切手	△ 504
(2) 誤記帳	△ 420		
(4) 引落未記帳	△ (20)		
修正後残高	△ 887	修正後残高	△ 887

(6) 負債勘定への振替

現金預金※	887	短期借入金	887
-------	-----	-------	-----

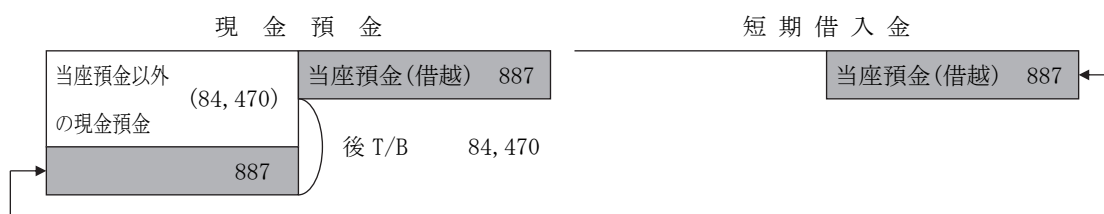
※ 上記(5)の修正後残高

(参考) 当座借越の短期借入金への振替

- ① 前 T/B の現金預金は、当座預金（当座借越 1,412）と当座預金以外の現金預金（具体的には、現金、普通預金、定期預金などが考えられる。）84,050 が相殺されている。

現金預金	
当座預金以外 の現金預金 (84,050)	当座預金(借越) 1,412
	前 T/B 82,638

- ② 後 T/B の現金預金は、当座預金分（当座借越）が短期借入金に振り替えられるため、当座預金以外の現金預金分（前 T/B 84,050 + 翌日預入分 420 = 84,470）となる。



確認 3

【解 答】

1

決算整理後残高試算表（一部）

（単位：千円）

現 金 預 金	22,500	買 掛 金	24,880
売 掛 金	29,850		
営 業 費	89,225		

2 問 1

29,200 千円

問 2

決算整理後残高試算表（一部）

（単位：千円）

当 座 預 金	31,000	買 掛 金	50,000
売 掛 金	64,000	未 払 金	300
営 業 費	125,500		

【解答への道】（単位：千円）

1

(1) 時間外預入 ⇔ 銀行側加算（仕訳不要）

(2) 売掛金振込未記帳

現 金 預 金	3,800	／	売 掛 金	3,800
---------	-------	---	-------	-------

(3) 未渡小切手

現 金 預 金	2,200	／	買 掛 金	2,200
---------	-------	---	-------	-------

(4) 未取付小切手 ⇔ 銀行側減算（仕訳不要）

(5) 引落未記帳

営 業 費	300	／	現 金 預 金	300
-------	-----	---	---------	-----

2

(1) 引落未記帳

営	業	費	3,500	/	当	座	預	金	3,500
---	---	---	-------	---	---	---	---	---	-------

(2) 誤記帳

① 適正な仕訳

当	座	預	金	1,500	/	売	掛	金	1,500
---	---	---	---	-------	---	---	---	---	-------

② 当社が行った仕訳

売	掛	金	1,500	/	当	座	預	金	1,500
---	---	---	-------	---	---	---	---	---	-------

③ 修正仕訳(①－②)

当	座	預	金	3,000	/	売	掛	金	3,000
---	---	---	---	-------	---	---	---	---	-------

(3) 時間外預入 ⇔ 銀行側加算 (仕訳不要)

(4) 未渡小切手

当	座	預	金	2,300	/	買	掛	金	2,000
						未	払	金	300

(5) 未取付小切手 ⇔ 銀行側減算 (仕訳不要)

(6) 銀行勘定調整表

銀行勘定調整表

前 T/B 当座預金残高	(差額) 29,200	銀行残高証明書	34,000
(1) 引落未記帳	△ 3,500	(3) 時間外預入	+ 1,000
(2) 誤記帳	+ 3,000	(5) 未取付小切手	△ 4,000
(4) 未渡小切手	+ 2,300		
修正後残高	31,000	修正後残高	31,000

問題19	約束手形(1)・為替手形
------	--------------

【解 答】

(単位：円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	買 掛 金	50,000	支 払 手 形	50,000
(2)	仕 入	80,000	売 掛 金	80,000
(3)	受 取 手 形	100,000	売 掛 金	100,000
(4)	買 掛 金	70,000	支 払 手 形	70,000
(5)	支 払 手 形	40,000	当 座 預 金	40,000

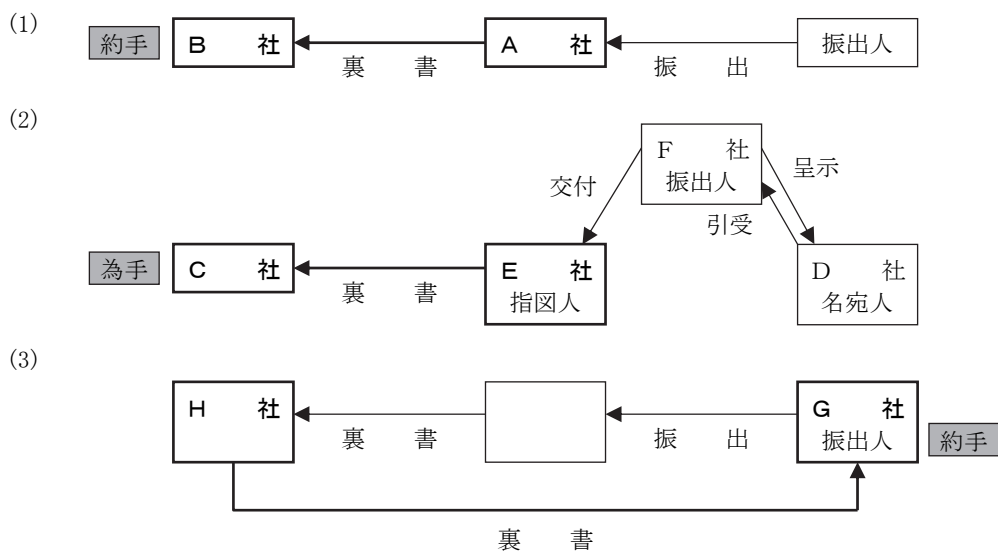
問題20 裏書譲渡・割引(1)

【解 答】

(単位：円)

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	A 社	仕 入	20,000	受 取 手 形	20,000
	B 社	受 取 手 形	20,000	売 上	20,000
(2)	C 社	受 取 手 形	15,000	売 掛 金	15,000
	E 社	買 掛 金	15,000	受 取 手 形	15,000
(3)	G 社	支 払 手 形	30,000	売 掛 金	30,000
	H 社	買 掛 金	30,000	受 取 手 形	30,000
(4)	I 社	当 座 預 金	89,550	受 取 手 形	90,000
		手 形 売 却 損	450		

【解答への道】



問題21 約束手形(2)・割引(2)

【解答】

問1

受取手形 (122,250,000)円

支払手形 (88,500,000)円

問2

決算整理前残高試算表				(単位：円)	
受 取 手 形	(80,867,000)	支 払 手 形	(80,400,000)		
売 掛 金	(117,622,000)	買 掛 金	(95,928,500)		
仕 入	(745,698,200)	売 上	(883,057,000)		
手形売却損	(827,600)				

【解答への道】(単位：円)

「商品取引は掛で行われている。」との指示から、受取手形及び支払手形の増加要因は売掛金及び買掛金となる点に注意すること。

1 2月28日現在の残高試算表の金額

(1) 受取手形

受取日が2月28日以前の手形(管理番号3135、3137、3138、3139)の合計

$30,700,000 + 25,543,000 + 28,500,000 + 37,507,000 = 122,250,000$

(注) 管理番号3136については、2月16日に割引に付しているため、2月28日現在の残高試算表には計上されないことに注意していただきたい。

(2) 支払手形

振出日が2月28日以前の手形(管理番号1911、1912、1913、1914)の合計

$24,800,000 + 19,600,000 + 23,200,000 + 20,900,000 = 88,500,000$

2 3月中の商品取引

(1) 掛仕入

仕 入	56,724,000	／	買 掛 金※	56,724,000
-----	------------	---	--------	------------

※ 問題文に「商品取引は掛で行われ」とあるため、買掛金となる。

(2) 掛売上

売 掛 金※	72,727,000	／	売 上	72,727,000
--------	------------	---	-----	------------

※ 問題文に「商品取引は掛で行われ」とあるため、売掛金となる。

3 3月中の掛代金の決済

(1) 買掛金の決済

買 掛 金	15,000,000	／	現 金 預 金	15,000,000
-------	------------	---	---------	------------

(2) 売掛金の決済

現金預金	20,000,000	／	売掛金	20,000,000
------	------------	---	-----	------------

4 3月中の手形取引（同種取引はまとめて示す。）

(1) 受取手形

① 管理番号 3135、3137（3月中に期日が到来した分）

現金預金	56,243,000	／	受取手形※	56,243,000
------	------------	---	-------	------------

※ 30,700,000+25,543,000=56,243,000

② 管理番号 3136 → 2月16日に割引に付しているため、処理なし

③ 管理番号 3138（3月中に割引した分）

現金預金	28,468,400	／	受取手形	28,500,000
手形売却損	31,600			

④ 管理番号 3139 → 手形期日到来前であるため、処理なし

⑤ 管理番号 3140、3141（3月中に受入れた分）

受取手形※	43,360,000	／	売掛金	43,360,000
-------	------------	---	-----	------------

※ 20,860,000+22,500,000=43,360,000

⑥ 決算整理前残高試算表の受取手形は手形期日到来前の手形（管理番号 3139、3140、3141）の合計となる。

∴ 37,507,000+20,860,000+22,500,000=80,867,000

(2) 支払手形

① 管理番号 1911、1912（3月中に期日が到来した分）

支払手形※	44,400,000	／	現金預金	44,400,000
-------	------------	---	------	------------

※ 24,800,000+19,600,000=44,400,000

② 管理番号 1913、1914 → 手形期日到来前であるため、処理なし

③ 管理番号 1915、1916（3月中に振出した分）

買掛金	36,300,000	／	支払手形※	36,300,000
-----	------------	---	-------	------------

※ 17,800,000+18,500,000=36,300,000

④ 決算整理前残高試算表の支払手形は手形期日到来前の手形（管理番号 1913、1914、1915、1916）の合計となる。

∴ 23,200,000+20,900,000+17,800,000+18,500,000=80,400,000

問題22 手形の更改

【解 答】

(単位：円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	支 払 手 形	600,000	支 払 手 形	600,000
	支 払 利 息	6,000	現 金 預 金	6,000
2	受 取 手 形	400,000	受 取 手 形	400,000
	現 金 預 金	4,000	受 取 利 息	4,000
3	支 払 手 形	600,000	支 払 手 形	606,000
	支 払 利 息	6,000		
4	受 取 手 形	404,000	受 取 手 形	400,000
			受 取 利 息	4,000

問題23 営業外手形

【解 答】

(単位：千円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
A 社	車 両 運 搬 具	5,000	当 座 預 金	500
			営 業 外 支 払 手 形	3,500
			未 払 金	1,000
B 社	現 金	500	売 上	5,000
	受 取 手 形	3,500		
	売 掛 金	1,000		

【解答への道】

1 A社

小切手を振り出しているため、当座預金の減額となる。また、車両の購入は商品売買以外の取引となるため、手形債務については営業外支払手形、翌月の支払分は未払金となる。

2 B社

他人振出の小切手は現金として処理する。また、車両の販売は商品売買取引として処理するため（自動車販売会社にとって自動車は商品である。）、手形債権については受取手形、翌月の受取分は売掛金となる。

問題24 金融手形

【解 答】

(単位：円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	当 座 預 金 支 払 利 息	495,500 4,500	手 形 借 入 金	500,000
2	手 形 貸 付 金	600,000	現 金 受 取 利 息	597,000 3,000

問題25 貸倒引当金(1)

【解 答】

決算整理後残高試算表 (一部)

(単位：千円)

受 取 手 形 (	44,500)	貸 倒 引 当 金 (	9,368)
売 掛 金 (	71,500)		
破産更生債権等 (	8,000)		
貸倒引当金繰入 (	8,538)		

【解答への道】(単位：千円)

1 破産更生債権等への振替

破 産 更 生 債 権 等	8,000	／	受 取 手 形	1,500
			売 掛 金	6,500

2 貸倒引当金の計上

(1) 破産更生債権等

貸倒引当金繰入 ※	6,000	／	貸倒引当金	6,000
-----------	-------	---	-------	-------

※ 債権金額 8,000－担保処分見込額 2,000＝6,000

(2) 貸倒懸念債権

貸倒引当金繰入 ※	2,500	／	貸倒引当金	2,500
-----------	-------	---	-------	-------

※ (受取手形 3,000＋売掛金 4,500－担保処分見込額 2,500) × 50%＝2,500

(3) 一般債権

貸倒引当金繰入 ※	38	／	貸倒引当金	38
-----------	----	---	-------	----

※ 受取手形：46,000－破産 1,500＝44,500

売 掛 金：78,000－破産 6,500＝71,500

設 定 額：{受手 44,500＋売掛 71,500－懸念 (3,000＋4,500)} × 0.8%＝868

繰 入 額：868－前 T/B 830＝38

問題26 貸倒引当金(2)

【解答】

問1	(1) 破産更生債権等	(2) 貸倒懸念債権	(3) 一般債権
	4,000 円	5,000 円	4,500 円

問2

決算整理後残高試算表				(単位：円)
売掛金	100,000	貸倒引当金	(	13,500)
貸付金	(60,000)			
破産更生債権等	(5,000)			
貸倒引当金繰入	(11,800)			

【解答への道】(単位：円)

1 貸倒実績率の算定

$$\left(\frac{4,900}{140,000} + \frac{4,050}{150,000} + \frac{4,480}{160,000} \right) \div 3 = 0.03 \rightarrow \text{貸倒実績率 } 3\%$$

2 貸倒見積高の算定

$$(1) \text{ 破産更生債権等} : 5,000 - \text{債務保証額 } 1,000 = \boxed{4,000}$$

$$(2) \text{ 貸倒懸念債権} (\text{売掛金 } 8,000 + \text{貸付金 } 2,000) \times 50\% = \boxed{5,000}$$

(3) 一般債権

$$\textcircled{1} \text{ 売掛 } 100,000 + \text{貸付 } (65,000 - \text{破更 } 5,000) - \text{懸念} (\text{売掛 } 8,000 + \text{貸付 } 2,000) = 150,000$$

$$\textcircled{2} \text{ 貸倒見積高} : 150,000 \times 3\% = \boxed{4,500}$$

3 決算整理仕訳

(1) 破産更生債権等

貸倒引当金繰入	4,000	/	貸倒引当金	4,000
---------	-------	---	-------	-------

(2) 貸倒懸念債権

貸倒引当金繰入	5,000	/	貸倒引当金	5,000
---------	-------	---	-------	-------

(3) 一般債権

貸倒引当金繰入	2,800	/	貸倒引当金	2,800
---------	-------	---	-------	-------

$$\ast \quad 4,500 - \text{前 T/B 貸倒引当金 } 1,700 = 2,800$$

確認 4

【解 答】

1

(単位：千円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	受 取 手 形	12,000	売 上	12,000
2	受 取 手 形	10,000	売 上	10,000
3	仕 入	8,000	支 払 手 形	8,000
4	仕 入	15,000	受 取 手 形	12,000
			買 掛 金	3,000
5	当 座 預 金	9,650	受 取 手 形	10,000
	手 形 売 却 損	350		
6	支 払 手 形	8,000	売 上	20,000
	売 掛 金	12,000		
7	仕 入	12,000	売 掛 金	12,000
8	受 取 手 形	18,000	売 上	18,000
9	買 掛 金	3,000	支 払 手 形	3,000
10	土 地	50,000	営 業 外 支 払 手 形	50,000

※ 「土地購入支払手形」等でも可

2

決算整理後残高試算表（一部）

(単位：千円)

受 取 手 形	32,000	貸 倒 引 当 金	6,170
売 掛 金	64,000		
破 産 更 生 債 権 等	6,000		
貸 倒 引 当 金 繰 入	5,520		

【解答への道】（単位：千円）

1 解答参照

2 (1) 破産更生債権等への振替

破 産 更 生 債 権 等	6,000	/	受 取 手 形	1,000
			売 掛 金	5,000

(2) 貸倒見積高の算定

① 破産更生債権等

債権金額 6,000－担保処分見込額 2,000＝4,000

② 貸倒懸念債権

(受取手形 2,000＋売掛金 2,000－担保処分見込額 1,500) × 50%＝1,250

③ 一般債権

(a) 前 T/B 受取手形：33,000－破産 1,000＝32,000

(b) 前 T/B 売掛金：69,000－破産 5,000＝64,000

(c) { ((a)＋(b))－懸念 4,000} × 1%＝920

(3) 貸倒引当金の計上

① 破産更生債権等

貸 倒 引 当 金 繰 入	4,000	/	貸 倒 引 当 金	4,000
---------------	-------	---	-----------	-------

② 貸倒懸念債権

貸 倒 引 当 金 繰 入	1,250	/	貸 倒 引 当 金	1,250
---------------	-------	---	-----------	-------

③ 一般債権

貸 倒 引 当 金 繰 入※	270	/	貸 倒 引 当 金	270
----------------	-----	---	-----------	-----

※ 920－前 T/B 貸引 650＝270